

TECHNO-FRONTIER2013 出展並びに出展者セミナー実施

「技術による新たな価値提案を新事業として具現化するには」 ～事業化に向けた展示会の活用～

ヘルスケア・プロジェクト 高橋 弘章

2013年7月17日～19日にかけて、一般社団法人日本能率協会が主催します、「TECHNO-FRONTIER2013」が開催され、28,080名の来場者がありました。

- 「TECHNO-FRONTIER」は、「機器、機械、装置、システムの先端要素技術に関する情報発信・交流の場」として、あらゆる産業の設計開発者、生産技術者、および関連専門家に向け最新技術と課題解決のためのソリューションを提供する専門技術展とシンポジウムの場で、19年目を迎えました。また、本年度は「介護・ヘルスケア/医療機器開発技術ゾーン～医療、福祉、介護機器/設備 開発のための部品・装置・技術の展示ゾーン～」も設置致しました。一般社団法人日本能率協会、日本能率協会総合研究所、日本能率協会コンサルティングにて、医療・介護・健康分野への参入支援に関わる情報提供としてブース出展、並びに出展者セミナー「技術による新たな価値提案を新事業として具現化するには」を実施致しました。

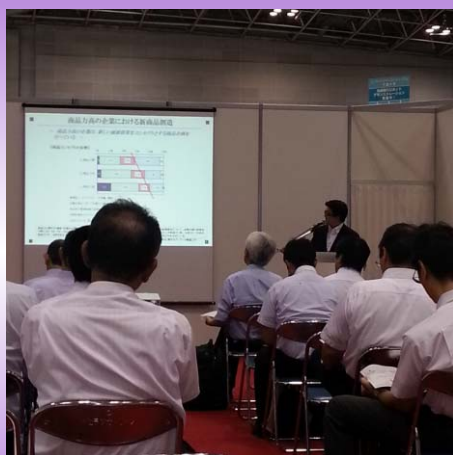
◆展示ブースへの来場者数 50名

来場頂いた方々が手に取られました資料には、セミナーのテキストや参入支援プログラム、HOSPEX Japan2013に関する資料が多くありました。

ブース内でお声を頂きました企業様の中には、「HOSPEX Japan2013出展を決定している中で、どのように成果を高める準備をすべきか知りたい」、「異業種参入自体に関心を持っているが、そもそもどの分野にリソースを集中すべきか、これから検討するステージにある。業種探索に関心がある」といったご相談を、頂くことが出来ました。



《出展ブースの様子》



《セミナーの様子》

◆出展者セミナー参加者数 30名

日本能率協会コンサルティング ヘルスケア・プロジェクトリーダー山中から、「技術を核にした新商品・新事業創造と展示会の活用」についての説明と、日本能率協会総合研究所 大竹より、「新規事業で使える情報収集方法 ワンポイントアドバイス」情報収集における説明を致しました。ご参加者の顔ぶれとしましては、部品製造メーカー、電気機器メーカー、また大学関係者の方々などにご参加頂いております。ご参加頂いた方のアンケートから、「考え方のプロセスが参考になった」などの評価も頂きました。



【お問合せ】 株式会社日本能率協会コンサルティング

担当:ヘルスケア・プロジェクト 大石・高橋

URL:<http://www.jmac.co.jp>

TEL.03-3434-0982 mail: healthcare_jmac@jmac.co.jp